

株主の皆様へ

第83期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

TOMOKU

Packaging Innovation

証券コード 3946

株式会社トーモク



TOMOKU

株主の皆様へ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第83期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の事業の概況につきまして、ご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあるなか、先行きについては、感染拡大の防止策やワクチン接種の促進、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気の回復が期待されますが、内外の感染症の動向、資源高などの影響による下振れリスクがあります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の売上高は983億82百万円（前年同期比24.2%増）、経常利益は27億67百万円（同73.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は17億4百万円（同73.9%増）となりました。

セグメント別の業績は次ページに記載の通りでございます。

当社グループは、DX推進はもとより従来から温室効果ガス排出削減に向けて、電動フォークリフトへの切替え、重油からガスへの燃料切替えなどの取組みを進めており、当期は厚木工場や札幌工場などで購入電力の再生可能エネルギー化を進めてまいりました。今後も、2030年度までに50%削減（2013年度比）の目標に向けて加速してまいります。

通期では連結売上高2,100億円、連結経常利益92億円、親会社株主に帰属する当期純利益60億円を見込んでおります。

以上ご報告の通りでございますが、中間配当金につきましては1株につき25円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解をいただき、より一層のご支援とご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。



2021年12月

代表取締役社長 中橋 光男

セグメント別業績

段ボール

売上高 496億92百万円 (前年同期比3.5%増)
営業利益 30億59百万円 (同 6.4%増)

段ボールの国内需要は、食料品分野や通販、電気・機械分野などで前年からの回復基調が続いております。当社グループにおいては、夏場の天候不順による飲料や青果物の出荷量減の影響もありましたが、加工食品向けの回復基調を受け、生産量は前年同期を上回りました。

国内では、本年1月に移転した連結子会社の(株)トーシンパッケージ本社工場が順調に稼働し、8月には小牧工場に最新鋭の加工機を設置しました。海外では、6月にトーモクベトナム社に加工2ラインを増設しました。ベトナム国においては、新型コロナウイルス感染症の影響により7月からロックダウンとなりましたが、3ヶ月ぶりに解除となり、生産は徐々に回復していくものと思われまます。9月に米国のサウスランドボックス社に館林・神戸工場に設置した日本国内最速、毎分450mの貼合機を米国仕様で改造した最新のTM450を設置しました。サウスランドボックス社の工場拡張工事は現在も継続中であり、グループ全体の生産能力向上への取組みを更に進めてまいります。



サウスランドボックス社に設置された最新鋭の貼合機「TM450」

住宅

売上高 283億99百万円 (前年同期比137.7%増)
営業損失 12億3百万円 (前年同期は営業損失19億98百万円)

住宅市場においては、新型コロナウイルス感染症により在宅勤務の増加による住環境の改善ニーズが高まり、持家の着工は持ち直しの動きがみられ、新設住宅着工戸数は前年同期比で増加が続いています。

(株)スウェーデンハウスでは、新型コロナウイルス感染症拡大により展示場へ来場できないお客様に対し、モデルハウス室内を360度バーチャルで内覧できる世界初の3Dキャラクター接客による「VRモデルハウス・ウォークスルー」サイトを強化しました。また、快適性能No.1のアピールと価値の持続する家作りを基本に「オリコン顧客満足度調査ハウスメーカー注文住宅ランキング」で7年連続第1位の受賞を徹底訴求し、注文住宅比較サイトにおける紹介受注の強化を行ないました。同社の受注棟数、売上棟数は前年同期比増加しました。前期末に子会社化した(株)玉善の売上高に加え、収益認識会計基準の適用により売上高は前年同期を大幅に上回りました。



(株)スウェーデンハウスのホームページ内にあるVRモデルハウス・ウォークスルーサイト

運輸倉庫

売上高 202億90百万円(前年同期比5.2%増)
営業利益 11億7百万円(同 15.9%増)

運輸倉庫部門においては、本年4月に群馬県明和町に稼働した総合研修センターや集中心呼センターを併設するインテリジェント・マルチテナント型施設、TLP(Tohun Logistics Provider)群馬センターの飲料関係の取扱い数量の増加により出荷が好調であったこと、日用品の取扱い増加などから、増収となりました。

また、西日本エリアの事業基盤を確立し、今後の事業拡大と業績の安定化を図るため、7月に宝樹運輸(株)(本社:和歌山)を連結子会社化いたしました。



(株)トーウン TLP群馬センター外観

温室効果ガス排出量削減の加速に向けて 購入電力の再生可能エネルギー化を開始

本年より、厚木工場、千葉紙器工場、札幌工場、トモプレスト工場、グループ会社のトーシンパッケージ本社工場、トーウンTLP群馬において、外部から購入する電力をバイオマス、太陽光、風力、地熱等の再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えました。

地球温暖化抑制のため、政府は2030年度までに温室効果ガスを2013年度比46%削減する方針を発表しており、その対策の加速化が求められています。

トーモクグループでは、SDGsに賛同し、2030年度までにScope1と2の合計で、2013年度比50%の温室効果ガス排出量削減を目指しており、当社全17工場を再生可能エネルギー由来の電力へ切り替えるとともに、燃料に由来する排出量(ボイラーやフォークリフトなど)の削減や生産設備の省エネルギー化等の実行によって、目標達成に向けて加速させてまいります。今後2022~23年度にかけて、更に7工場の切り替えを計画しております。

社名・工場	生產品目等	切り替え時期
トーモク・札幌工場	段ボール製品	2021年7月1日~
トーモク・厚木工場*	段ボール製品	2021年5月1日~
トーモク・千葉紙器工場	紙器製品	2021年5月1日~
トーモク・トモプレスト工場	段ボール製品	2021年5月1日~
トーウン・TLP群馬	運輸・倉庫	2021年5月1日~
トーシンパッケージ・本社工場	段ボール製品	2021年3月1日~

*かながわ再エネ電力利用事業者の認定取得

これからも、トーモクグループは、ビジネスと人々の暮らしを見つめ、「包む」に関わる絶え間ないイノベーションにより、企業価値の向上と持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

四半期連結財務諸表（要旨）

●売上高	983億82 百万円（前年同期比 24.2%増）
●経常利益	27億67 百万円（前年同期比 73.4%増）
●親会社株主に帰属する 四半期純利益	17億4 百万円（前年同期比 73.9%増）

四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期連結会計期間末 (2021年9月30日現在)	前連結会計年度末（ご参考） (2021年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	78,606	78,291
固定資産	109,335	101,451
有形固定資産	89,480	83,463
無形固定資産	1,897	965
投資その他の資産	17,957	17,022
資産合計	187,942	179,743
負債の部		
流動負債	53,653	59,118
固定負債	61,511	49,410
負債合計	115,164	108,528
純資産の部		
株主資本	67,395	66,006
資本金	13,669	13,669
資本剰余金	11,257	11,229
利益剰余金	46,693	45,420
自己株式	△ 4,224	△ 4,313
その他の包括利益累計額	4,846	4,721
非支配株主持分	534	485
純資産合計	72,777	71,214
負債純資産合計	187,942	179,743

四半期連結損益計算書

（単位：百万円）

区 分	当第2四半期連結累計期間 (2021年4月1日から 2021年9月30日まで)	前第2四半期連結累計期間 (2020年4月1日から 2020年9月30日まで)
売上高	98,382	79,232
売上原価	83,197	66,478
売上総利益	15,184	12,754
販売費及び一般管理費	12,543	11,304
営業利益	2,641	1,450
営業外収益	478	357
営業外費用	352	211
経常利益	2,767	1,595
特別利益	12	—
特別損失	59	19
税金等調整前四半期純利益	2,720	1,576
法人税、住民税及び事業税	1,450	1,184
法人税等調整額	△ 476	△ 623
四半期純利益	1,747	1,015
非支配株主に帰属する四半期純利益	43	35
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,704	980

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
基準日	3月31日 その他必要ある場合はあらかじめ公告いたします。
配当金支払株主確定日	期末配当金につきましては3月31日、中間配当金の支払いを行う場合は9月30日といたします。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711(通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
公告方法	電子公告により当社ホームページ (https://www.tomoku.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告をすることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 トーモク TOMOKU CO., LTD.

〒100-0005 東京都千代田区丸の内2-2-2 丸の内三井ビル4階
TEL.03-3213-6811 FAX.03-3213-2825
<https://www.tomoku.co.jp/>

